

東北医科薬科大学病院 広報誌

k a g a y a k i

[かがやき]

51

2023 Winter



特集

- ・年頭のご挨拶
- ・インフルエンザと新型コロナウイルス感染症について

KIRA KIRA ✦ COLUMN 【キラキラ コラム】

- ✦ 笑顔のチカラ
- ✦ はばたけ！研修医
- ✦ 管理栄養士監修 もう一品レシピ
- ✦ 検査のあれこれ
- ✦ いのちを守る医療機器

TAKE
FREE

ご自由にお持ち帰りください

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます

謹んで新春をお祝い申し上げます

病院長 佐藤 賢一

新型コロナウイルス感染症と対峙するようになって3年が経過しています。当院においても万全の対策を講じて対処しておりましたが、昨年の8月にクラスターが発生してしまいました。その際には、診療制限をせざるを得ない状況となり、多大なご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。このクラスター発生を機に、新型コロナウイルス感染症対応についてさらに見直し、皆様に安心して受診していただけるよう努力しております。

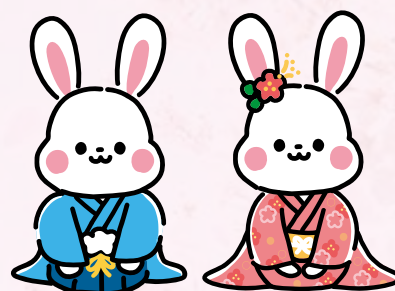
昨年は本学の一期生が卒業して90名が医師となり、その64%が東北地方の病院で臨床研修医として働いています。本院にも9名の一期生が勤務しています。今年は二期生が卒業します。毎年、本学から誕生していく医師が増えることにより、東北地方の医療に貢献するとともに、本院の医師の増加に結び付いていくことは非常に嬉しいことです。本学卒業生が専門医となって本院で診療するにはあと数年を要しますが、指導体制をさらに整えていきたいと考えております。私たち職員は医学生への教育、臨床研修医や専攻医への指導によって、自らも成長していきます。それが本院の医療体制の充実に繋がり、地域の皆様の健康へ寄与していくものと信じております。

大変喜ばしいことに、当院へ受診される方々は年々増加しております。その一方で、外来診察までの待ち時間が長いことや会計に時間がかかり、その結果混雑を生んでしまうなど、大変ご迷惑をおかけしております。それらを改善すべく、昨年から2か所に会計窓口を増設し分散会計の運用を始めました。当院公式LINEを「友だち」登録

いただくと、会計番号表示モニターのライブ配信を閲覧することができ、会計計算終了まで混雑している場所を避けてお待ちいただくこともできるようになりました。また、予約システムを簡素化する取り組みも消化器内科から開始しております。今年はさらに受診される方々に便利なシステムを導入していきたいと思っております。

がん診療に関しても、当院は昨年より地域がん診療連携拠点病院に指定されました。7月からは遺伝外来も開設しました。本邦では2人に1人が罹患するといわれる「がん」に対して、診療から治療に加え、相談窓口も備えることで診療体制を強化しております。さらに、本院のウェブサイトからYouTubeを使ってがんの予防、検診、薬物療法などについての解説を市民公開講座として配信しております。1万回以上も視聴されている講座もありますので、興味のある方は是非ご覧ください。

本年も職員一同、心のこもった新しい、納得できる医療を実践していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



LINE「友だち」
登録はこちら



インフルエンザと 新型コロナウイルス 感染症について

感染症内科 科長 遠藤 史郎

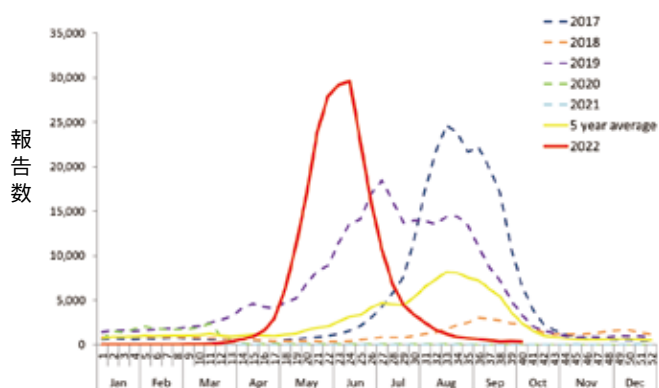


令和元年（2019年）12月に世界ではじめて報告された新型コロナウイルス感染症への対応がなされるようになり、もうすぐ3年を迎えようとしています。当初は新型コロナウイルスの特徴なども不明であったため、世界中で様々な対策が行われてきました。国内においても緊急事態宣言や行動制限などの対策が行われ、その経験を踏まえながら、「withコロナ」へ向かっている状況と思います。

現在【令和4（2022）年10月20日執筆時】、第7波のピークから感染者の報告数自体は減少傾向に転じていますが、今後の動向（感染状況）が気になると思います（その後、第8波が始まったと日本医師会が認識を示しました）。年末にかけては、湿度が下がったり、気温が低下する事により、呼吸器感染症が流行しやすいシーズンとなります。幸いにして、過去2年間は毎冬シーズンに爆発的な流行をもたらしてきたインフルエンザウイルスによる感染症はほとんどと言っていいほど、流行しませんでした。この原因として、我々が新型コロナウイルスに対して行ってきた感染対策（不織布マスクの着用・換気や手指衛生など）が有効であった可能性が指摘されていますが、正確なところは分かっていません。

一方、国内でインフルエンザウイルスが流行するかどうかを予測する1つの指標が南半球の冬シーズンにおけるインフルエンザウイルス流行状況と言われています（図）。

図：（南半球）オーストラリアにおけるインフルエンザの流行状況



Australian Government Department of Health and Aged Care
AUSTRALIAN INFLUENZA SURVEILLANCE REPORT,
Reporting fortnight: 26 September to 09 October 2022より引用一部改変

過去2年間の2020シーズン（黄緑色）、2021シーズン（水色）においてはオーストラリアにおけるインフルエンザウイルスの大きな流行は認められず、それに呼応するような形で、国内でもその流行は認められませんでした。しかしながら、今シーズン（2022：赤色）は既に、オーストラリアにおいて、インフルエンザウイルスの大きな流行が認められています。そのことから、今年の冬シーズンは国内においてもインフルエンザウイルスの大規模な流行が危惧されており、新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの同時流行への懸念が高まってきています。

では、我々はどういった対策を行えばよいのでしょうか？インフルエンザウイルスであっても新型コロナウイルスであっても、主な感染経路は飛沫感染～エアロゾル感染であることに変わりはありません。したがって、新型コロナウイルス感染症対策として今まで行ってきた**不織布マスクの適切な着用、換気の徹底を行い、3密を避け、手指衛生を励行することを確実にやっていくことが、この冬を乗り切るポイントになる**と思います。さらには、特段の理由（アレルギーなどの禁忌事項）がない限りは、積極的にワクチン接種を行うことも有効な手段となります。また、基本的な事ですが、体調が悪いときには出勤・登校しないことは言うまでもありません。感染症を「0」にすることはできませんが、適切な感染対策を行うことによって、1人1人の感染リスクは下げることが可能になります。1つだけの感染対策では限界がありますが、**複数の対策を組み合わせることにより感染リスクは下がります**。今まで行ってきた感染対策を今一度見直し、インフルエンザウイルスと新型コロナウイルスの同時流行が懸念されている冬シーズンを乗り切っていただければと思います。

複数の対策を
組み合わせよう！



不織布マスクの着用



換気の徹底



手指衛生



3密を避ける

笑顔のチカラ

認定看護師 編

シー・オー・ビー・ディー

COPD という病気を知っていますか？

慢性呼吸器疾患看護 認定看護師 岩間 由希子

COPD とは、主にタバコが原因で気道の炎症が起きたり、酸素を取り込む肺胞の壁が破壊され、息切れや痰などの症状を引き起こす肺の病気です。一度壊れてしまった肺胞の壁は元に戻ることはなく、徐々に息苦しさが増え、日常生活を営むことが困難となります。

平成 25 (2013) 年度より施行された「健康日本 21 (第 2 次)」では、がん、循環器疾患、糖尿病と並んで、対策を必要とする生活習慣病として挙げられ、一般の人々の COPD に対する認知度を令和 5 (2023) 年度までに 80% にすることが目標とされました。最近では、落語家の桂歌丸さんや歌手の和田アキ子さんが COPD で闘病を公表され注目されましたが、それでも現在の認知度は約 30% 程度とまだまだ低いのが現状です。そしてその認知度の低さから病気の発見が遅れ、重症化してしまうケースが多いのが問題とされています。

もし身近に、動いたあとに息切れが酷い、痰が絡んで仕方ないといった症状があり、かつ長年の喫煙習慣がある方は

COPD かもしれません。早期に正しい診断を受け、適切な治療やリハビリテーションを開始すれば、病気の進行を緩やかにできる病気ですので一度診察を受けることをお勧めします。

万が一 COPD と診断されても、急な病気の悪化がなければ、これまでの生活を続けながら療養することができます。

また、病気が進行し在宅での酸素投与が必要になった場合でも、自分らしく生きることを諦める必要はありません。在宅酸素療法を行っている患者さんの一部を対象とした呼吸器看護専門外来では、看護師が療養生活での悩みや生活の希望を聞き、その解決策を患者さんやその家族と一緒に考える関わりを行っています。また、病棟の看護師や医師と意見交換を行い、入院治療になった場合でも継続した看護が提供できるような環境を整え、COPD の患者さんをサポートしています。



認定看護師とは…？

公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有すると認められた者をいいます。現在当院には 22 名の各種認定看護師がおります。

はばたけ！ STEP 研修医

当院で研修中の先生方をご紹介します！



1. 出身地は？
2. 趣味は？
3. 未来の自分に
向けて一言！



相原 晃暢

(あいはら あきのぶ)

1. 埼玉県
2. ゴルフ
3. 最後まで諦めない
でやり抜こう。



鈴木 康平

(すずき こうへい)

1. 宮城県
2. F1 観戦
3. 小さなことでもコツ
コツと積み重ねて
ください。



中村 圭

(なかむら けい)

1. 山形県
2. ドライブ
3. チャンスと思ったら
すぐに行動しよう！



福庭 悠介

(ふくば ゆうすけ)

1. 群馬県
2. テニス
3. 初心を忘れず
頑張ってください！



もう一品レシピ

管理栄養士 栗田 藍

二色卵

お正月の
おせち料理に
華を添える一品



当院でもお正月に提供しているメニューです。二色卵は、その名の通り、卵の黄身と白身を「二色（錦）」という語呂合わせから名付けられています。金糸や銀糸など色糸を使って織られる色彩豊かな織物の錦のように、卵の黄身を「金」、白身を「銀」に例えられることから、財宝の意味もある縁起が良い料理です。

材料（約4人分）

- ・卵……………6個
- ・砂糖……………40g（甘さはお好みで調整）
- ・塩……………少々
- ・型……………10cm 角程度
高さ4cm以上のものが好ましい

作り方

- ①水を入れた鍋に卵を入れ、沸騰後火を弱め、12～13分加熱する。
- ②冷水で冷やし殻を剥き、黄身と白身に分ける。
- ③白身についた黄身は水で洗い流し、水分をしっかりとふき取る。
- ④白身の割合が多い場合は、黄身と白身が同量になるように黄身に白身を混ぜる。
- ⑤黄身と白身それぞれに砂糖20gと塩少々入れ、ミキサーにかけて滑らかにする。裏ごし器で裏ごししてもよい。
- ⑥型にラップをしき、下段に白身、上段に黄身を2cmずつの高さに入れそれぞれ平らになるようにおさえる。
※黄身は力を加えずに平らにならずと、ふわっとした仕上がりとなるのでお好みで調整する。
- ⑦蒸し器に入れ、中火で約10分蒸す。
- ⑧冷めたら型から取り出し、お好みの大きさに切り分ける。

検査のあれこれ



ホルター心電図 ハートノート

循環器内科 科長 小丸 達也



図：Heartnote®

不整脈は放置してよいものから命にかかわるものまで多くの種類があり、正しい診断と治療のためには、患者さんの不整脈を正確に捕捉する必要があります。いままで24時間の心電図を記録する「ホルター心電図」がありましたが、24時間ではとらえられない不整脈も多く、今回新たに Heartnote®（ハートノート）を導入しました。最大7日間装着し続けることができ、検出効率がぐっと高まりました。大きさが3cm×10cmと小型で（図）、重さ12グラムの絆創膏型の電極です。煩わしいコード類もなく、装着したままシャワーを浴びることもできます。不整脈診断に今後威力を発揮するものと期待されるところです。

いのちを守る医療機器

血糖測定器 freestyle リブレ

糖尿病代謝内科 医師 宗像 佑一郎



血糖変動が大きくなると動脈硬化を進展させ心筋梗塞等のリスクを高めます。同時に、糖尿病治療中の場合は低血糖を増やすことにもつながります。採血や指先から血液を採取する方法では、血糖の平均値や血液を採取した時点での血糖値を把握することはできても実際の血糖の動きを正確に評価することはできません。freestyle リブレを用いると、今まで見えなかった24時間の血糖の推移を線で評価することが可能になります。どんな場面でも服の上からでも二の腕に装着したセンサーにスマホやリーダーをかざすだけで痛みを伴わずに自身の血糖を把握することができるため、生活習慣の見直しや治療の調整に大きな役割を果たしてくれます。



■ 患者アンケートの回答を掲示しております

当院では、外来患者さん、退院患者さんを対象に、アンケートを実施しております。アンケートでいただいたご意見は、サービス向上委員会でご確認しております。本館 1 階 待合ホールの掲示板にて、ご意見に対する回答を一部掲示しております。皆様のご期待にそえるよう、サービス向上に努めてまいります。



■ 化学療法室を拡張しました

令和 4（2022）年 11 月 1 日より、本館 2 階 化学療法室（外来化学療法センター）が 4 床増床し、計 19 床の運用となりました。治療件数の増加に対応できるよう、外来化学療法センターの運営に努めてまいります。



■ 自動再来受付機と医療費自動精算機を増設しました

令和 4（2022）年 9 月の電子カルテ更新に伴い、自動再来受付機と医療費自動精算機を増設しました。

自動再来受付機は 2 台増設計 5 台となり、医療費自動精算機は 1 台増設計 3 台となりました。

患者さんがストレスなく受診いただけるよう、受付や会計の混雑解消に努めてまいります。



自動再来受付機



医療費自動精算機

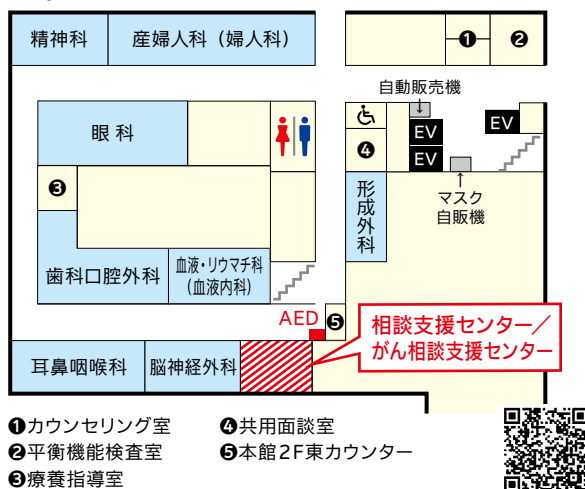
相談支援センター／がん相談支援センター

月～金曜日（祝日、年末年始を除く） 8：30～17：15
TEL 022-259-1221（代表）

当院では、医療費などの経済的なことや治療上的なことなど、病気に関わるご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。

どこに相談したらいいのかわからないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。

本館 2 階



医学部生臨床実習

東北医科薬科大学病院および若林病院では、令和元年（2019 年）10 月より、本学医学部 4 年生による臨床実習が始まりました。

医学部生は診療チーム・主治医の一員となり、指導医と一緒に診療に参加します。

医学部生が診療行為を行う際には、指導医から患者さんに「同意書」の記載をお願いする場合がございます。

指導医は、患者さんの安心・安全を確保しつつ学生の指導を行うとともに、最善の医療を提供できるように、より一層努めてまいります。

医師育成のための教育として義務付けられている臨床実習に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

薬学部薬学科学生実務実習

薬学部薬学科 5 年生も、病院や薬局で実務実習を行っております。

薬剤師育成のための教育として義務付けられている実務実習に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



アンケートのご協力をお願いいたします！

今後の「かがやき」制作の参考にさせていただきたくアンケートを実施しております。お手持ちのケータイ・スマホから右側の QR コードを読み込み、回答フォームに入力をお願いします。

